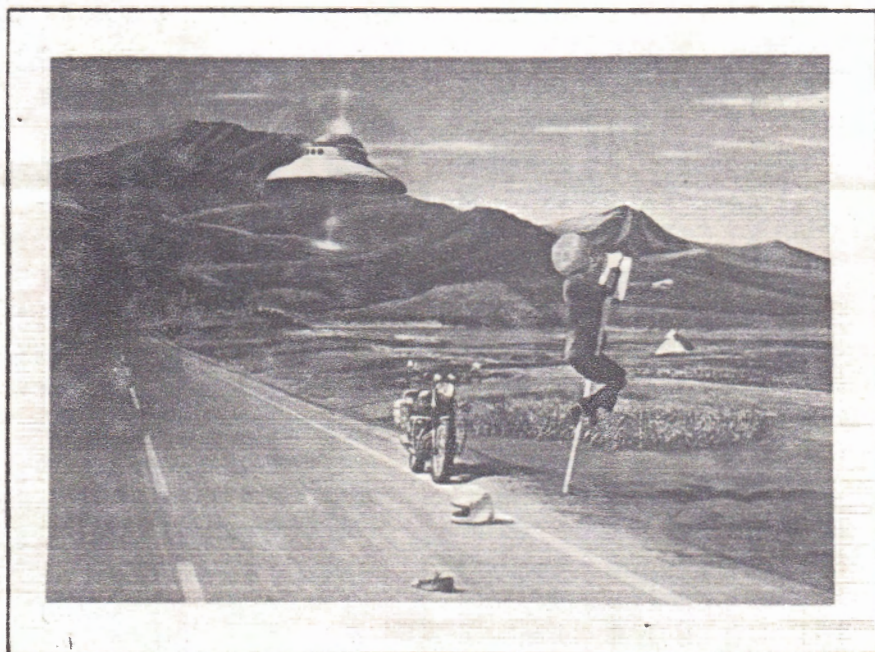


59年3月

支部通信

不思議に思うこと
観念をこえて
宇宙の意識と共に
星雲のポスターに囲まれて

伊藤重信
清水 正
山崎泰照
仁原れい



日本GAP札幌支部

第 2 号

時々、不思議に思うことがあります。それは万物の建築材料である原子についてです。

現代の素粒子物理学は、急速な発展をとげ我々の目に見えない世界をも少しずつ拡大しようとしています。我々は科学の進歩によって、この小宇宙を探検しようとしているわけですが、最新の科学をもつてしても解明できないことがあります。なぜ、原子は運動しているのか。あるいは、何が原子を運動させているのか。という素朴な疑問である。私もそれが不思議でなりません。宇宙のいたるところに原子は存在し、基本的なものです。形あるものは原子より成り立っています。何かの力によつて全ての原子が存在し運動しているのは実に驚異的なことではないでしょうか。

アダムスキー氏は、宇宙的な力に関して多くの知識を有していましたが、それによると物質の原子を存在させ活動させているのは、英知、力、形であるところの宇宙力であると述べています。私は思うのですが、原子の運動の中には英知があつて、自身を理解しているのではないのでしょうか。つまり、例えば簡単な水素原子のように、原子核の周囲を1個の電子が旋回しているものでも英知がその運動を示指し、水素原子自身もそれを知っているということです。そのように考えていくと原子の集合である分子、分子の集合である鉱物、あるいは細胞、細胞から組織と集中の度合が高まり複雑になるにつれ自己に対する理解力、つまり意識が高まってくるに違いありません。普通、人間や動物以外の鉱物には、意識はないように思いますが、ユーグレナ

(ミドリムシ)のように動物と植物の両方の性質を持つ生物や動物と鉱物の中間的な形態であるウイルスの存在を考えると、生物と無生物の分類は変で、万物は全て意識のある実体、生命体としか思えてなりません。そうすると万物は何の目的で自分自身が創造されたかを知っており、また意識していると思います。しかし、エゴを持った人間はそれを理解しようとはしませんでした。ところが本当は我々は自分自身の内部に解答があることを理解できたのです。宇宙の英知が原子ひとつ、ひとつに与えた意識が人間の意識になり、自分の存在目的を知る者になるということは不思議という他はない。

数年前に運よく仕事の関係で、札幌のGAPメンバーの方々とお会いする機会を得てから、私は全国のどこにも親切で素晴らしい人達がいるんだなあと、これからも多くのGAPメンバーと御会いして自己を高め、そしていくらかでもその話題をみんなに話すことが出来ればと思いそれ以来GAP活動を大きく展開はじめました。それというのも、あの札幌での6週間が宇宙的な高貴なフイーリングと感謝の心で過ごせたからです。皆さんの御親切は忘れることが出来ません。札幌滞在中私の想念は、次のような状態を何度も起こしました。皆さん方ひとり、ひとりの顔が印象として起こつて、そのたびに愛していると、いうことをくり返すのです。自分でも不思議なくらい感受性も高まりテレパシクなこともよくありました。例えば、GAPの人から電話や手紙が来る印象がわいたり、テレパシー練習などでもよい結果が現われました。

そのような状態になれましたのは、だいいちに皆さんの御親切と高いフイーリングがいちばんですが、私自身としてはひとつにいつもの習慣的な生活から離れ、北海道の、のびのびとした開放的な土地に触れたこと、またこの年の7月には米・南米宇宙考古学の旅に参加の意志を固めていたことなどがあつたと思います。もうひとつ原因を考えてみますと内的には新鮮さがあつたと思います。新しいものには流動性があつていつも自由さが感じられます。これはこうに決っている。という固定感がありませんから想念も自由に流れている状態で、新たな関心が次々と起こります。

テレパシーで重要なのは自由に想念が流れることであるという例を思い出したのでここに書きたいと思います。昭和55年の秋の事です。たまたま帰省していた兄がお酒を飲んで二階の床につこうとする頃、私と兄は世間話しをしていたのですが、急に兄はテレパシー練習をやろうと言いました。何で急に？と聞くと今日は調子が良いからという返事です。ESPカードを使つて私が家の階段の所から送信しましたら、ほとんど適中で次に部屋によばれて、真暗な中で兄はふとんに入っています。そして、ふとんのそばにならべると言います。その通りにならべて1枚ずつ音をたてろと言います。

そうしながら5枚ならべ終つてから順に言い当てて行きました。話を聞くと音を聞いた瞬間、形がはつきり見えるのだと言うことでした。そして、さらにならべた方向なども当てました。それから、さらに私は隣の部屋でESPカードをふせて持つていました。それを兄は上から順に言いあてました。ほとんど、100%の出来で私は驚いたのですが、あとでひととおり終つてから兄になんでこんなに当たるんだ?と聞いたらひと言、観念がマヒしたからだということでした。というのは、この時兄は、大酒を飲んで相当よつており、そうした状態から特に固定観念が関係なくなつて気持ちが大きくなつたらしいのです。抑圧感がなくなり開放的な状態になつていました。つまりいちじ的にも酒の力によつてか、自由な想念の流れを体験していたわけです。

私達は酒の力をかりないで、これをやらなければなりません。その方が絶対にいいのです。いかにして観念にとらわれないか、まずひとつにGAPの最も基本的な想念観際によつて自己の想念傾向を知り、欠けている点があれば、強れつなミラクルワールドによつて改善していくということでしょう。マインドだけにたよらないでいつも意識を感じていることや、地球だけの観念によらないでいつも宇宙に視野を拡大することの重要性を感じます。私達は強れつな印象を受けてスペースブラザーズの存在を信じ、スペースシップやスペースブラザーズとのコンタクトによつてさらに確心にみちて、今度は私達が観念をこえてテレパシーや透視を日常茶飯事体験していく時期にさしかかっています。

札幌支部の皆さん、いろいろお世話いただきました。ありがとうございます。これからの増々の御活躍と発展を期待しております。

・・・宇宙の意識と共に・・・

山崎泰照

エジソンはおさないころ、なぜ?どうして?と言つては両親を困らせたようですが、私達もエジソンのように宇宙の意識という、すべてを知る両親に聞く事が大切に思います。なぜ?どうして?そして、ではどうしたらよいかと。生命の科学には意識のささやきを聞けとあります。どうやつて聞くのか?ささやき

を聞くには、耳をすまさなければなりません。丁度そのように、自分の内部に対してするといいと思います。ところで、宇宙の意識と一体化する事とよく聞きますが、宇宙の意識が実感としてあるか?自分にとって現実的なことだろうか?とふり返つてみますとまだまだ不十分のようです。時々何かの拍子に気づくにすぎません。宇宙の意識を意識できるようになるには、意識が導くように生きる事ではないでしょうか。一般的には、宇宙的な生き方でしょう。GAP会員には、アダムスキーの伝えた事に出合つて、強く心を動かされた人、ばくぜんとはしているが何かに強く感じた人、確固たる信念を持つた人が多くいるようです。信念に頼ることは宇宙の意識に頼ることであり、かくて意識と心は一体化して働くようになります。(生命の科学第1課より)

アダムスキーはよく言っています。あなたに何も教えることはできない。ただ、あなたの内部にすでに存在している何かに気づかせるだけだ。教師の役割は、ただ本人に知覚を起こさせるという事にほかなりません。この頃は意識が自分にとって、もつと確かな、より現実的なものと強く感じています。そして長い間探しもとめていた目標が現われてきたような感じです。なぜなら、すべてはそこから始まるのですから。さて、私達がとりこになつている古い習慣的想念を消滅させ、感官の知覚力を統制し服従させるためにアダムスキーは想念観察をすすめました。ここで思い出すのは、私は異星人から何を学んだかにある(自分の想念とそれが自分や他人におよぼす影響を理解することに大きな関心を持ち始める必要がある。そして自分の心をこの想念の出所と、自分がその想念のとりこになる理由の方へ向けるのである。)のです。それから1日1回でも朝と晩だけでも、少しずつでもノートに書きとめること、1週間毎、1ヶ月毎にでも反省する事が大切に思います。そして、想念観察をするという行為を通して想念の主人になることでしよう。よく想念観察を始めると、利己的な想念にとらわれがちになるという人もいますが、それは利己的な想念を克服して宇宙的になろうというあまり利己的な想念を意識しすぎたのではないのでしょうか。ふだんの会話でくだらない事や、人の悪口などが話題になりはじめたら、さりげなく話題を変えるのにたくみな人がいますが

それにならうのもいいでしょう。そして、怠惰な利己的な心を少しずつ訓練してゆくに從つて、より活動的になるでしょう。また、活動的な生活はバランスがとりやすいようです

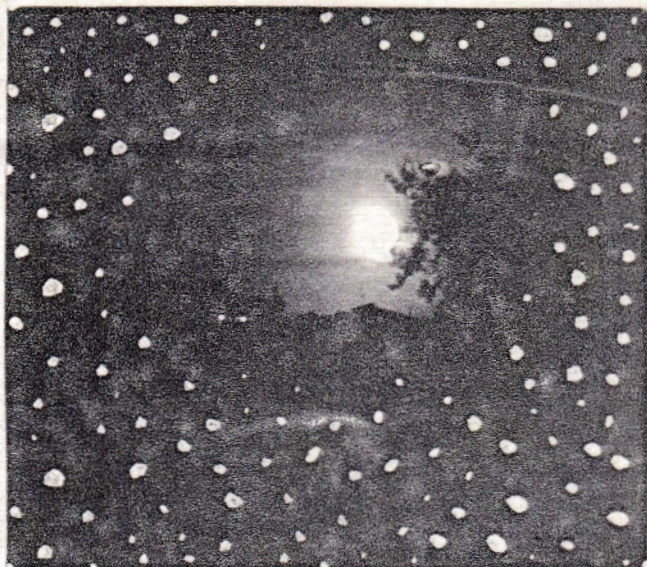
活動中、あるいは（仕事中のほうにもつと大きなしかながあることに気づくでしょう。宇宙哲学）、そして（人間の最大の栄光はリラックスによつてもたらされます。というのこれによつてこそ人間は宇宙の意識という光輝あるものと一体化するからです。リラックスの効用）・・・かつてエッセネ派では、長い長い年月、多くの人々の生涯の献身により救世主をむかえるための確固たる土台が築かれたが、今日、GAP活動の結晶として、宇宙時代にふさわしい精神、意識が確立されつつあるようです。そして新たな段階を迎えようとしているようです。古い書簡集などを讀んでつくづく感じるのは、アダムスキー在世当時、世界のかたすみで細々と活動していたのが、今や驚くべき成長をとげ、大きな影響を及ぼし始めてきた事です。宇宙の意識を意識し充分体现できるよう日々ががんばりましょう。

・・・星雲のポスターに囲まれて・・・

仁原れいこ

私は星が好きだ、と言つても天体観測や写真に凝っているわけでもない。ただ夜空を見上げ星を見ることが好きなんだ。アパートの居間にはアンドロメダ星雲とプレアデス星団のポスター、ついでにアストロカレンダーを張りつけ少しでも宇宙的ふんいきを味わおうとしている。ふだんは、ついつい日常の忙しさに張つてあるポスターのことなどは忘れてしまいがちだが、ふと気がついてポスターに目をやつた時などフウツと日常の空間を抜けて星雲の中に吸い込まれそうな気がする。この広大な宇宙の中に輝く星雲の数々・・・。日頃文句を言い、悩んでいることがほんとうになんと小さなことか、そして宇宙の時の流れに比べれば、人間の生はなんとちっぽけなものかと思う。しかし、そのちっぽけとも思われる一生を、人間は大切に生きていかなければならない。転生をくり返し人間の魂はより崇高なものへ、宇宙の英知へと近づいていくのだらう。そのための良き指針となるアダムスキー哲学にめぐり会えたこ

ことに、私は心から感謝している。そしてひとりではくじけそうになる私に、励ましを与えてくれるGAPの仲間に出会えたことにも心から感謝したい。次回の転生後（たぶん転生できると思うのだが・・・）には、私はどのくらい進歩しているのかな？ふとそんな楽しい想像をしながら、神秘的姿を見せるアンドロメダ星雲のポスターに目を向けた。



~~~~~編集後記~~~~~

◎創刊号から、すっかり御ぶさたしてしまいました。また、よろしくお願いします。

◎新しく宇宙哲学を知りたいという方々からよく、なぜ同じことをしているのに、ア氏没後いろいろなグループに列れて活動しているのですかと聞かれますが、これは決してケンカをしている訳ではなく、ア氏の活動をひきついだ各リーダー達の方針が異なるからとしか言いようがありません。ア氏を通して異星人の文化、哲学が伝えられ、その内容に共感、その哲学を生命とする人々が実生活に生かしてゆく為に研究している訳ですが、GAPを例にとつても久保田先生の活動方針に共鳴してGAPを軸として研究する人、他のグループあるいは個人として研さんしている人々、その人の方向性に依じて各種の活動方法があると思います。自分のところがすべてとは言いませんが、やはりお互いオープンマインドを必要と強く感じる者達なのですから、異なるグループ同士の批判は慎しみたいものです。

.....(西沢)

・季刊・GAP支部通信、春の号・

・昭和59年3月22日発行・

・発行・日本GAP札幌支部・